

Press Release

January 12, 2024 | ID: 100281

ボルボ・カーズ、生物多様性に焦点を当てた新たな目標で サステナビリティへのコミットメントを強化

本プレスリリースは、1月12日スウェーデン本社発の翻訳版です。

ボルボ・カーズはサステナビリティ戦略を拡大し、2030年および2040年に向け新たに意欲的な目標を設定しています。また、生物多様性への取り組みも強化し、2025年までに債務のすべてをグリーンファイナンス・フレームワークに関連したものか、サステナビリティに関連したものにする 것을 目指します。

ボルボ・カーズの CEO であるジム・ローワンは、「気候変動と闘うために行動を起こすことは譲れないことであり、完全な EV 化は、私たちの先駆者としての道のりにおける重要なステップです。バリューチェーン全体でさらなる排出量削減に取り組む中で、私たちには、より多くのことを行い、生物多様性への影響にも取り組み、人々の生活を向上させる責任があります。私たちの最新の戦略は、まさにそれを実現させるためのものです」と述べています。

ボルボ・カーズの 2030 年に向けたサステナビリティに関する新たな目標:

- 車 1 台あたりの CO₂ 排出量を 75%削減する(2018 年比)
- 平均的な車 1 台あたりの事業活動におけるエネルギー使用量を 40%削減する(2018 年比)
- 全車両の平均リサイクル率 30%を達成し、新型車のリサイクル率を 35%以上にする
- 自社の事業活動における水の使用量を 1 台あたり平均 50%削減する(2018 年比)
- ボルボ・カーズの事業活動から排出されるすべての廃棄物の少なくとも 99%を再利用またはリサイクルする

ボルボ・カーズは 2019 年にサステナビリティ戦略を発表して以来、気候変動対策目標に向けて前進してきました。例えば、私たちの事業活動は、2019 年には 55%のところ、今や 69%がクライメート・ニュートラルエネルギーで賄われています。また、世界中の製造工場では、2019 年には 80%のところ、現在では 100%クライメート・ニュートラルな電力が使用されています。さらに、2018 年以降、車 1 台あたりの CO₂ 排出量を 19%削減しています。

2040 年までに温室効果ガス排出量をネットゼロにする

ボルボ・カーズの現在の目標は、2040 年までに温室効果ガス排出量をゼロにすることです。これは、2040 年までにクライメート・ニュートラルな企業になるというこれまでの目標をさらに拡大するもので、炭素除去は、避けられない排出を軽減するためだけに用いるという意図があります。私たちの最優先事項は、炭素除去に頼る前に実質的な排出量を削減することであり、サプライヤーにも同様の取り組みを奨励しています。

これは、2025 年までに債務の 100%をグリーン債務またはサステナビリティに連動した資金調達にするという目標に沿ったもので、サステナブルな開発を推進する上でファイナンスが非常に重要な役割を果たすと認識しています。

2030 年は私たちにとって節目の年です。それまでに完全な EV メーカーになると同時に、2018 年を基準として、車 1 台あたりの CO₂ 排出量を 75%削減することを目指しています。私たちは EV のみを販売することに加え、サプライチェーンと事業活動の両方から排出される CO₂ を 30%削減することで、計画通り私たちの CO₂ 削減目標を達成できると考えています。

2040年までに循環型ビジネスを目指す

ボルボ・カーズでは、2019年以降、循環型経済への取り組みに焦点を当てており、ボルボの新型車では、すでにリサイクル素材がこれまで以上に大きな割合を占めています。例えば、ボルボ EX30 では全アルミニウムの約25%、全スチールとプラスチックの約17%がリサイクル素材です。

また、2030年までに全車両に平均30%の再生資源を使用し、2030年以降に発売される新型車には少なくとも35%の再生資源を使用することを目指しています。さらに、2022年にはグローバルでの生産廃棄物の94%をリサイクルしていましたが、2030年までにはボルボ・カーズの全廃棄物の99%を再利用またはリサイクルすることを目指しています。

ネットポジティブを目指し、ネイチャーポジティブな未来に貢献する

ボルボ・カーズは、生物多様性への影響に対し、バリューチェーン全体で取り組むことが大切だと考えています。自然界への影響を軽減するための取り組みだけでなく、回復に向けた行動も追求します。

私たちの活動が生物多様性にいかに影響を与えているかを明らかにするため、私たちは2021年からの生産と販売のデータを用いて影響評価を実施し、ReCiPeモデルを用いて年間の生物多様性への影響を把握しました。この結果をベースラインとして、ボルボ・カーズは現在、バリューチェーン全体でネットポジティブになるよう努め、ネイチャーポジティブな未来に貢献するという長期的な目標を掲げています。

これには、短期的・長期的な対策を組み合わせた取り組みが必要なため、バリューチェーンが及ぼす影響の回避と削減、事業展開／調達先の生態系における修復・保全活動プログラムの設計、サプライチェーンパートナーとの協働による生物多様性問題に対する認識の確立などに取り組んでいます。

バリューチェーン内外の人々の生活の保護に貢献

ボルボ・カーズは、社会にプラスの影響を与えたいと考えています。例えば、私たちは、傷害率(LTCR)に焦点を当てることで、従業員の保護に貢献するための措置を講じています。現在の傷害率は0.07で、業界をリードする水準ですが、2030年までに職場での傷害率をさらに0.02まで下げることが目標としています。また、バリューチェーン全体を通じて、人権リスクを追跡、特定、評価、対処するためのリスクベースのデュー・ディリジェンスプロセスを通じて、人権保護に努めています。

ボルボ・カーズは、志を同じくするパートナーとともに、これから先、人と地球を守るための新たな社会的そして環境的なイニシアチブを発表していきます。

注記

- 2030年までに全車両に：これは、その時点で生産されている全モデルを指します。
- バリューチェーン全体におけるネットポジティブについて：私たちが及ぼす影響を回避・削減するための行動をとるということであり、また私たちが及ぼすマイナスの影響とプラスのバランスがとれる範囲で、自然の回復や再生に取り組むということです。
- ネイチャーポジティブについて：ネイチャーポジティブへの貢献とは、ネットポジティブを目指すだけでなく、2021年を基準として、マイナスの影響を継続的に軽減することを意味します。
- 傷害率(LTCR)について：傷害率(LTCR)は、少なくとも1日の病気休暇を伴う労働災害の報告件数を労働時間で割り、200,000を乗じたものと定義されます。
- 人権リスクを追跡し、特定し、評価し、対処するためのリスクベースのデュー・ディリジェンスプロセスについて：潜在的または実際の悪影響を評価し、特定された人権侵害を排除、防止、緩和、是正するための行動を優先するために、リスクベースのデュー・ディリジェンスプロセスをグローバルに実施します。このプロセスは、EU企業持続可能性デュー・ディリジェンス指令(CSDDD)および私たちの人権コンプライアンスプログラムを満たすものでなければなりません。これには、公式化された一貫したプロセスを導入することを目指した

責任ある調達管理システムが含まれており、ボルボ・カーズのすべての特定懸念原材料(RMOC)について、サプライチェーンにおける人権および環境関連リスクを積極的に管理するためのものです。

- 志を同じくする先進的なパートナーとの協働について:この分野における最近の例としては、セーブ・ザ・チルドレンとユニセフのウクライナへの対応に対する資金援助と現物支援、そして Girls Who Code との提携があります。

2022 年のボルボ・カーズ

2022 年通年で、ボルボ・カー・グループは 223 億 SEK の営業利益を計上しました。2022 年の売上高は 3,301 億 SEK、世界販売台数は 615,121 台に達しました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは 1927 年に設立された高級自動車ブランドの一つであり、100 カ国以上のお客様に販売されています。ボルボ・カーズはナスダック・ストックホルム証券取引所に上場しており、「VOLCAR B」のティッカーで取引されています。

ボルボ・カーズは、お客様にパーソナルで持続可能かつ安全な方法を、「Freedom to Move (移動する自由)」を提供することを目指しています。これは、2030 年までに完全な EV メーカーになるという目標と、2040 年までにクライメート・ニュートラルな企業になるという目標のもと、二酸化炭素排出量を継続的に削減するというコミットメントに反映されています。

2022 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 43,200 人です。ボルボ・カーズの本社、製品開発、マーケティング、管理部門は、主にスウェーデンのイエーテボリにあります。生産工場は、イエーテボリ、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ(米国)、成都、大慶、台州(中国)に所在しています。また、イエーテボリ、カマリオ(米国)、上海(中国)に研究開発及びデザインセンターがあります。

報道関係問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン広報事務局

volvo-pr@prap.co.jp

TEL:03-4580-1024 (問合せ対応時間:平日 10:00~18:00)

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2024 Volvo Car Japan Limited